

緑の相談コーナーだより

いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

身近にいるアリの話① 植物周りのアリの話

前号の「相談コーナーだより」でいとう先生が、種子にエライオソームがある「ヒメオドリコソウ」について書いてくれました。そこで今回は植物の周りにはいるアリが何をしているのかについてです。まずは植物周りでの甘い食べ物探し。食べ物探しの中で、アリはエライオソームがついた種子を鋭い嗅覚で見つけると、その種子を巣まで運びエライオソームだけを食べて種子は適当なところに捨てます。それが植物の種子散布の方法の一つである、種子のアリ散布です。エライオソームをあげる代わりに種子を親株から遠くに運んでもらいます。そのような植物は他にもたくさんあります。よく知られているところでは、スマレ、福寿草、カタクリ、エンレイソウ、エゾエンゴサク、エノキグサ、エノコログサ、園芸界で人気のクリスマスローズなど。たとえば庭でクリスマスローズが勝手にあちらこちらに増える場合、アリによる種子まきが考えられます。トビイロケアリ、クロヤマアリ、シワクシケアリなどがエライオソーム目的で種運びをするそうです。また食べるために種子を集めるクロナガアリは北海道にはいないとされています。ところで庭のアリが一番人間に嫌われる理由のひとつはアブラムシとカイガラムシとの関係ではないでしょうか。植物体の樹液を吸汁するアブラムシやカイガラムシが出す甘い体液を

今月の便り

アリがもらいます。その代わりにアリは植物の茎を登ってアブラムシに近づき彼らの天敵である虫から守ってあげます。またアブラムシらがいない植物によじ登って行ったり来たりしている場合もあります。そういう時、よく見ると植物は葉の付け根や蕾にある蜜腺から出す蜜でアリを誘っています。植物は葉自体を食べる虫を一番きらいます。その虫から自身を守るための用心棒としてアリをやっているのです。バラ愛好家はバラの柔らかい枝先にびっしりアブラムシがつくのを嫌います。将来綺麗な花を咲かせたい人間はなんとかしてアブラムシを撃退したいと考えます。一番の成長点である枝先は大事です。ですが花びらをたくさん持つような改良された園芸品種のバラは種子をつけません。だからバラにとって一番大事な守るべきところは花よりも葉や茎です。アリがアブラムシの甘露を求めて身体を這いずり回ってくれている方が場合によってはチュウレンジハバチのような他の虫を遠ざけるのに都合が良いのかも知れません。バラにとっては痛し痒しの状態なのかも。根元に巣をつくるクロクサアリなどは、アブラムシにアクセスしやすい植物の根回りの隙間を効率よく仕切ってへやをつくりまします。これも人間にとっては気になる場所ですね。どうしてもアリを遠ざけたい地点には忌避効果のある酢などを使ってください。アリは嗅覚が鋭いので有効です。様々な昆虫や植物が共生しているの絶滅させたいという思考は悪い循環を作るように思うのです。(きのした)

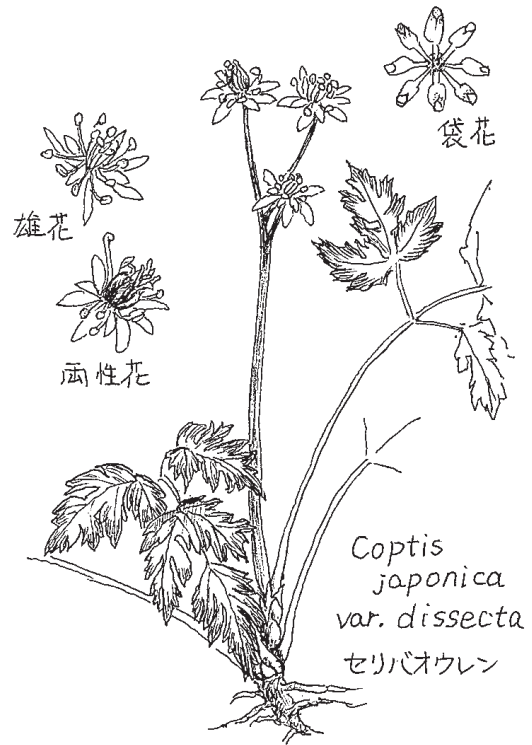
*「今月の便り」次ページへつづく⇒



セリバオウレン

セリバオウレンは本州から四国に分布する日本の固有種で道南から九州の日本海側に分布するキクバオウレンの変種とされています。キクバオウレンよりも葉の切れ込みが多くセリの葉に似ているのでセリバオウレンとなりました。山地の木陰に自生する多年草で草丈はおよそ 10～20cm 位で春先に花茎の上に 2～3 個の花をつけます。雄花と両性花がありまれに雌花があります。ともに白色で、数個の萼片、花弁が放射状にでて萼片の方が花弁より大きく目立ちます。オウレン属は、北半球に生息する小さな種属で、日本の気候風土に合い、比較的多くの種類を分布させました。この属の多くは、山地の針葉樹などの林床で見ることができます。北海道でもキクバオウレン、ミツバオウレンが道南に自生しています。セリバオウレンも山野草として販売されていて育てることができます。私の庭では今年の雪の少なさで3月の下旬には花を咲かせました。花は小さく見落としてしまいそうですが花後に種のさやが矢車状に輪生し、花よりも目立つくらいです。背丈も花より伸び、熟すと先端が開き風にゆれると種子が落ちます。さ

やも茎も丈夫なため長くその姿を楽しめます。花は早春に咲きますが、一年中葉を保っている常緑多年草であるため、早春植物(スプリング・エフェメラル)には分類されません。(いとう)



バラの気持ち 枝葉と根は一心同体

バラにとって、枝葉と根は人間の胃腸のようなもの。枝葉や根が弱ると、養分や水分をうまく取り込めなくなります。枝と根は常にシンメトリーで、枝葉が元気なくすと、同時に芽も弱ります。枝葉と根のバランスが大切で日当たりの良い場所で健康に育ったバラは病気や害虫にも強くなります。特に午前中の光が大切で東向きか南向きが理想です。ちょうど良い置き場所がない場合も、できるだけ長く太陽の光を当て、雨に当てないようにします。バラに多い黒星病は雨で病原菌が広がり、病気が進むと葉がボロボロ落ちて途端に元気がなくなります。鉢栽培なら日当たりの良い雨の当たらない軒下などが最高です。蕾がついた開花株は、花を楽しんだら古い花をできるだけ早く切ってあげましょう。種をつけると体力を消耗して、その後の生育が衰えたり元気をなくしたりします。特に四季咲き性のバラは満開になる前に早めに切りとって体力を温存させると次の花が咲きやすくなります。2番目3番目の花が咲いたら同じように剪定をします。肥料は腹八分目が良いので、バランスよく規定量の8割位を与えます。地植えのバラは養分がある所まで自分で根を伸ばすことができますが、鉢植えのバラは日々の水やりで少しずつ肥料分が流れ出て肥料不足になりやすいので注意しましょう。肥料過多で花が開きにくく、ボーリングする事もあるのでむやみに肥料をやり過ぎないのが良いです。(たかはし)

ひとつき ひとバラ



文： 曾 根 浩 太
(いわみざわ公園バラ園)



今シーズン岩見沢は記録的な小雪でした。1953年からの観測データからみても4番目に雪が少ないシーズンだったようです。除雪も例年よりぐっと減り、人間の身体はとて楽だったのですが、バラにとっては雪がなく、寒風にさらされた期間が長く厳しい天気でした。かなり凍害も出て、切り詰める剪定となりました。今回はハイブリッドルゴサから、マックス グラフを紹介します。マックス グラフはバラ園のイリスの像の向いにあるハイブリッドルゴサコレクションの中に植えてあるバラです。花はピンクで、真ん中の黄色い蕊が目立つ一重咲きのバラになります。色や雰囲気は交配のテリハノイバラ寄りですが、大きさはハマナシの大きさに近い花です。枝はかなりの這性で、当園では全く立ち上がる枝もなく、グランドカバーにも使用できるような樹形です。葉はしわのある葉で、一目でハマナシの園芸品種とわかります。ハイブリッドルゴサらしく、耐病性は抜群です。耐寒性に関しては、ハーディネスゾーンが意外とZ6なのでそれほど高くないようですが、基本的に雪の下になるため当園では凍害はない状況です。今シーズンの小雪で

第百三十七回

ハイブリッドルゴサローズ

マックス グラフ

Max Graf

作出国：アメリカ

作出者：James H. Bowditch

作出年：1919年

ハーディネスゾーン：Z6

一季咲き

交雑：Rosa rugosa Thunb. ×

Rosa wichuraiana Crép. synonym

も影響がなかったので、Z6の割に耐寒性が高い印象を受けています。剪定は枯枝を切る程度でしっかりと花をつけてくれます。一季咲きと書きましたが、初夏に一度咲いた後、またぼつぼつと返り咲いてくれます。ただ、明らかに初夏よりも花数は落ちてしまうのでほぼ一季咲きというところでしょうか。バラ園の入口にあるシャンプランや整形式花壇のアーチにあるシンパシーはハイブリッドコルデシーという系統です。この系統はロサ コルデシーという名前のバラ由来の系統なのですが、そのロサ コルデシーはマックス グラフの実生を育てたバラだと言われています。ロサ コルデシーは品種登録がされておらず、写真もないため実際に見ることはできないバラです。また、半八重の赤いバラといわれていますが、ハマナシとテリハノイバラの交雑であるマックス グラフの実生から半八重の赤が出るというのは奇跡的な確率に感じます。もしかするとロサ コルデシーとマックス グラフの間には何世代かあったのかもしれませんがね。コルデス社の秘匿品種ロサ コルデシーの元となったマックス グラフ、是非見ていただきたい品種の一つです。

6/20 (土) ~ 7/12 (日)

イベントの詳細はHP・SNSにて

いわみざわローズフェスタ 2026

今月の市民園芸講座のご案内



●5月10日(日) 芝生コンディションの悪化の原因と改善方法

参加費：無料 定員：40名 講師：辻榮 三郎 さん

●5月16日(土) ばらゼミ③

参加費：無料 定員：40名 講師：古舘 杏奈 さん

●5月17日(日) 苔玉の楽しみ方

材料費：1,000円 定員：40名 講師：岩見沢樹石会 会員 さん

●5月24日(日) Only Oneの寄せ植えづくり

材料費：3,500円 定員：10名 講師：高橋 かつえ さん

※お申し込みは講座開催月の1日(休園日の場合は翌営業日)

9:00~電話で受付しております。

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<https://iwamizawa-park.com/>

※資料をご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3~4日位前までにお申込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。